令和3年3月　自立支援協議会定例報告会　議事録

（敬称略）

日時	令和 3 年 3 月 25 日（木）13:30～15:00
場所	東広島市市民文化センター3 階　アザレアホール
参加者 41 人	東広島医療センター、東広島市歯科医師会、つつじ、平成会 2 人、ときわ、市社会福祉協議会 3 人、しらとり会、西志和農園、松賀苑、ともがき、陽だまり、くれんど、エミリィプラス、やさいやくろせ 2 人、より Soy、広島西条公共職業安定所、広島県西部東保健所、黒瀬特別支援学校、ミライの会、ピアサロンこころ、東広島ろうあ協会、ピアカウンセラー（聴覚障害担当）、手話通訳者、市民（当事者）1 人、市健康福祉部健康増進課、市健康福祉部障害福祉課 3 人、市子育て・障害総合支援センター9 人（順不同）

１. 障害福祉課長あいさつ

令和元年末からの新型コロナウイルス感染症の流行により、自立支援協議会の各部会も開催回数が縮小するなど、大きな影響を受けた 1 年となった。

皆様のマスク着用やアルコール消毒による手指消毒等のご協力により感染者の発生が抑えられているところである。本日もソーシャルディスタンスを考慮した配席となっているのでご理解・ご協力をお願いしたい。

今年度は、本市の第 5 期障害福祉計画及び第 1 期障害児福祉計画の最終年で、目標値等を達成するための進捗状況の確認を始め、各部会の中での情報共有を行い、より実りある協議会とするため、日々改善に努めている。

障害児者を取り巻く環境は、まだまだ多くの地域課題が残っていると認識している。障害者計画の基本理念である「地域共生のまちづくり」を着実に推進するため努力していきたいので、今後も皆様のご指導を賜りたい。

２. 自立支援協議会部会等の進捗状況について

〇精神保健福祉部会（報告者：はあとふる CD）
〇ヘルパー支援部会（報告者：部会長）
〇就労部会（報告者：部会長）
〇収入アップネットワーク（部会長）
〇こども部会（報告者：はあとふる CD）
〇聴覚障害者の課題を検討する部会（報告者：はあとふる CD）
〇医療連携部会（報告者：部会長）
〇権利擁護部会障害者支援施設連絡会（報告者：部会長）
〇相談支援事業所連絡会（ＮＥＴＺ東広島）　（報告者：はあとふる CD）
〇「地域生活支援システム」（報告者：障害福祉課　障害福祉係長）

３. 困ったことシートについて（はあとふる CD）

４. 第 6 期東広島市障害福祉計画及び第 2 期障害児福祉計画について
（障害福祉課　障害福祉係長）

５．令和３年度自立支援協議会について（障害福祉課　障害福祉係長）

６．【質疑応答】

Q1（参加者①）

定例報告会の開催を感謝する。質問状を持参したので障害福祉課長にお渡しする。本日のこととは関係ないが、自殺は措置入院させることができるか答えてほしい。

A1（司会）

本会の報告についての質問に限らせていただきたい。

Q2（参加者①）

答えられないというのは司会者の権限か。課長判断か。

A2（障害福祉課長）

本日の報告についての質問に限らせていただきたい。

Q3（参加者①）

自死は措置入院させることはできないが心神耗弱者を措置入院させることは違法ではないか。

A3（障害福祉課長）

必要なことは国、県に言っていくという姿勢は変わらない。後ほど質問状を確認させていただく。

Q4（参加者①）

支援する立場の専門職に障害当事者はできないと言われて喜んでいると思うか。専門職の思い上がりではないか。自立支援協議会で支援にあたられている方はどのように思われているか。

A4（司会）

どの報告についての質問か。

Q5（参加者①）

自立支援協議会に参加している専門家の方が支援にあたられる際にどのように思われ日常業務にあたられているのかお聞きしたい。

A5（司会）

後ほど個別に対応させていただけないか。

Q6（参加者①）

我々障害者は部会に参加できない。

A6（司会）

部会の参加についても個別にお答えしている。

A6（障害福祉課長）

障害当事者の方の部会への参加については、必要に応じて障害当事者の方の意見を聞く必要があると認識している。

Q7（参加者①）

部会の参加について前向きに検討いただき感謝している。障害当事者から見ると支援者の方のこの会場での顔つきと支援を行っているときの顔つきが異なってみえる。以上。

Q8（参加者②）

就労部会へ一般就労された方の実数、医療連携部会へ看護士の配置状況について、何名配

置しているか、何校に配置しているか、何名の児童をケアしているか。

A8（就労部会　部会長）

一般就労された方の正式な数を今把握できていない。毎年6月頃市に報告している。また機会を改めてお伝えしたい。

A8（医療連携部会　部会長）

各学校について完全把握できていない。医療的ケアが必要な子がいれば配置されている。特別支援学校には配置されている。特別支援学級があり支援が必要な方はそんなにいない。現在把握しているのは、黒瀬に１人、次年度看護士配置を考えているところが１か所ある。

以上